

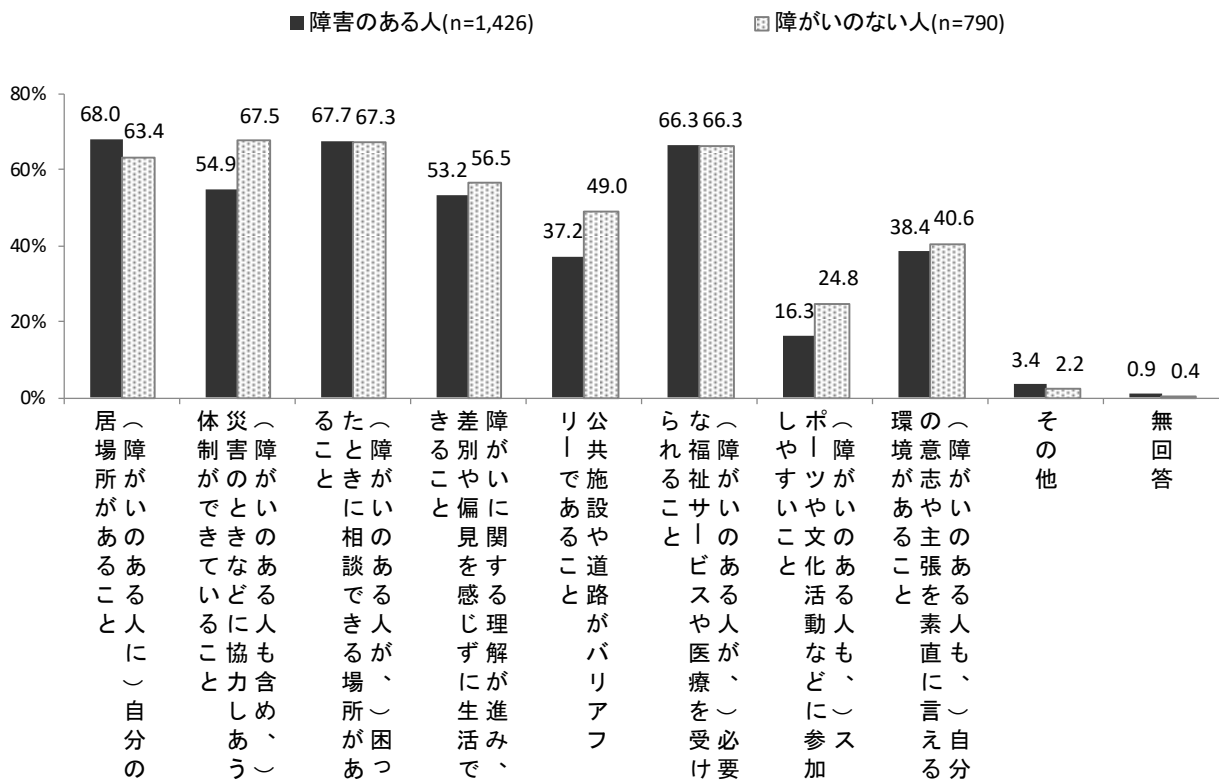
### iii 障がいのある人と障がいのない人の比較

#### 1. 地域での生活について

##### (1) 地域における共生において重視すること

問 あなたにとって、「地域における共生」を進める上で、特に重要だと思うことはなんですか。(いくつでも)

障がいのある人では、「自分の居場所があること」が最も高く、「困ったときに相談できる場所がこと」、「必要な福祉サービスや医療を受けられること」の順となっている。障がいのない人では、「災害の時などに協力し合う体制ができてきていること」が最も高く、「困ったときに相談できる場所があること」、「必要な福祉サービスや医療を受けられること」の順となっている。

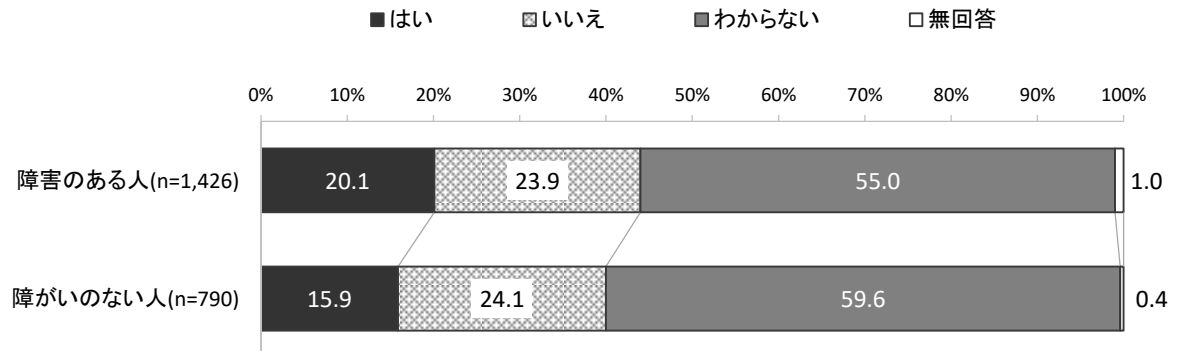


※ ( ) 内は障がいのない人のみ

(2) 地域における共生の進捗

問 あなたの身近では「地域における共生」が進んでいると思いますか。「地域における共生」の具体的な例は、前問の選択肢を参考にお答えください。(ひとつだけ)

「地域における共生」が進んでいると思うかについて、障害のある人では、「はい」は20.1%、障がいのない人では、「はい」は15.9%となっている。障がいのある人の方が、障害のない人よりも進んでいると感じている人の割合が高くなっている。

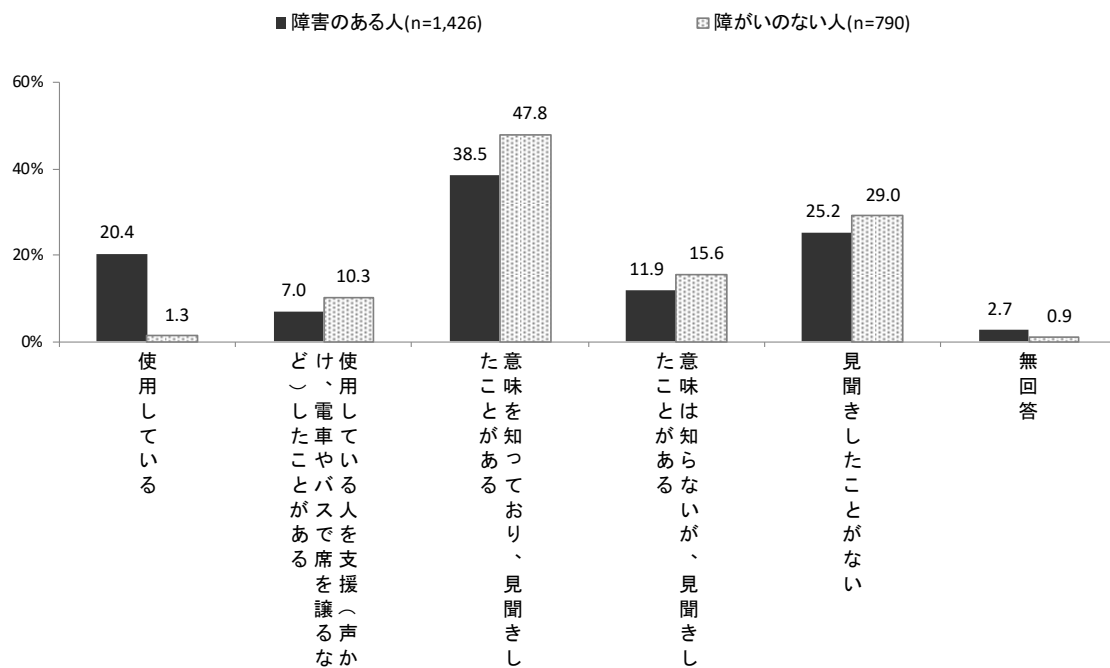


## 2. 障害福祉に対する意識について

### (1) ヘルプマーク・ヘルプカードの認知

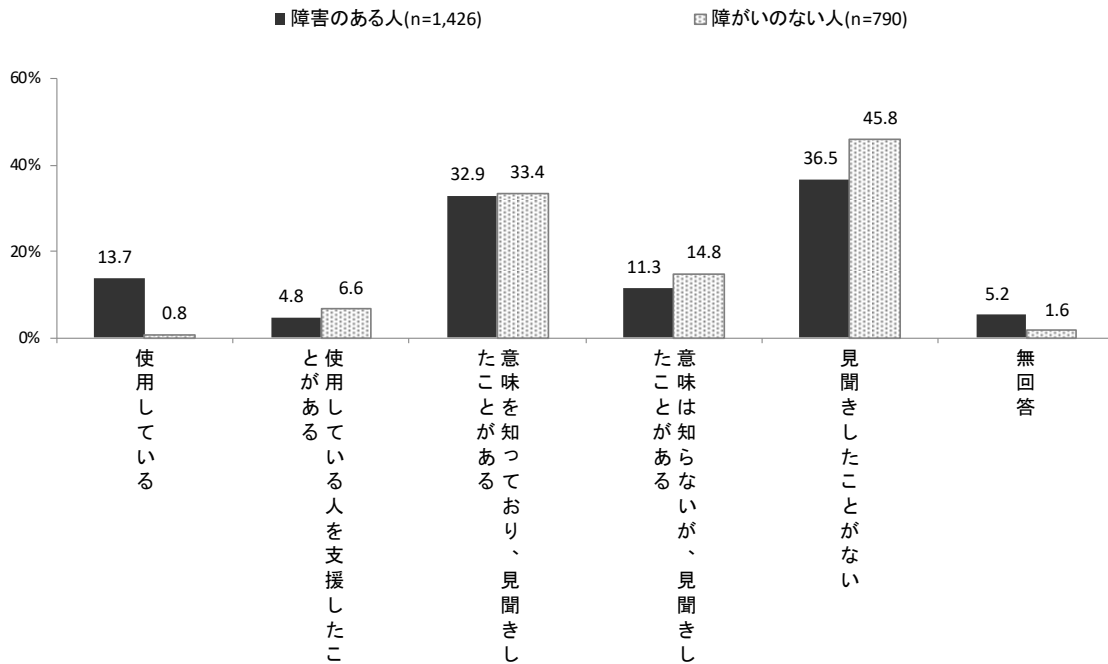
問 あなたは、「ヘルプマーク」を知っていますか。(いくつでも)

障害のある人、障がいのない人のいずれも、「意味を知っており、見聞きしたことがある」が最も高く、次いで「見聞きしたことがない」となっている。障害のある人では、「使用している」20.4%が3番目に高く、障がいのない人では、「意味は知らないが、見聞きしたことがある」15.6%が3番目に高くなっている。



**問 あなたは、「ヘルプカード」を知っていますか。(いくつでも)**

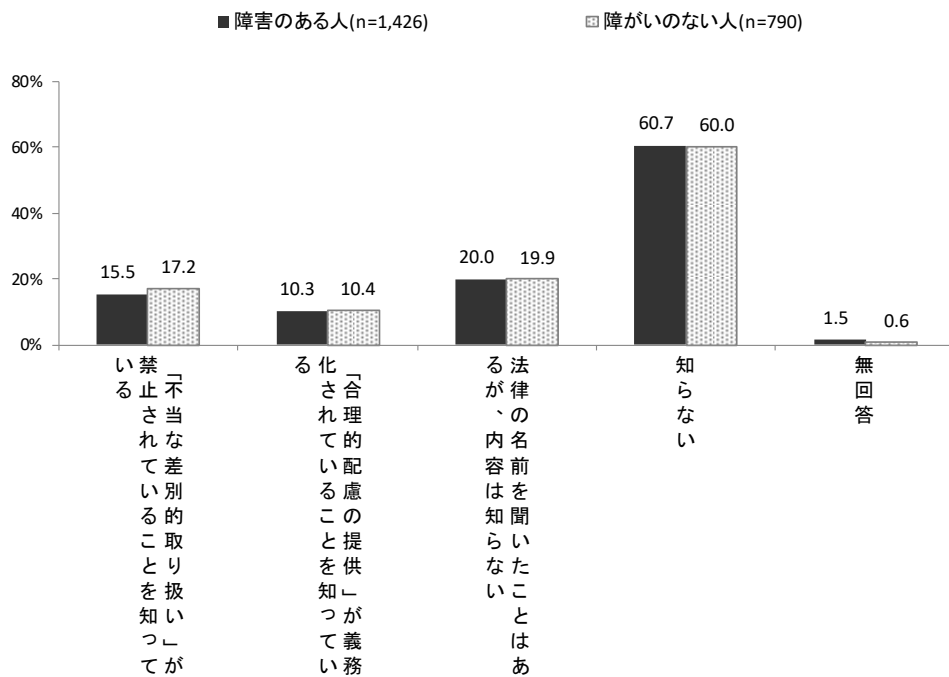
障害のある人、障がいのない人のいずれも、「見聞きしたことがない」が最も高く、次いで「意味を知っており、見聞きしたことがある」となっている。障害のある人では、「使用している」13.7%が3番目に高く、障がいのない人では、「意味は知らないが、見聞きしたことがある」14.8%が3番目に高くなっている。



(2) 「障害者差別解消法」の認知

問 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(いくつでも)

「障害者差別解消法」について、障害のある人、障がいのない人のいずれも、「知らない」が6割と最も高くなっている。不当な差別的取り扱いが禁止されていることや、合理的配慮の提供が義務化されていることなど、内容について知っている人は、障害のある人、障がいのない人のいずれも1割台となっており、大きな差はみられない。



### 3. 雇用・就労について

#### (1) 働くために必要な環境整備

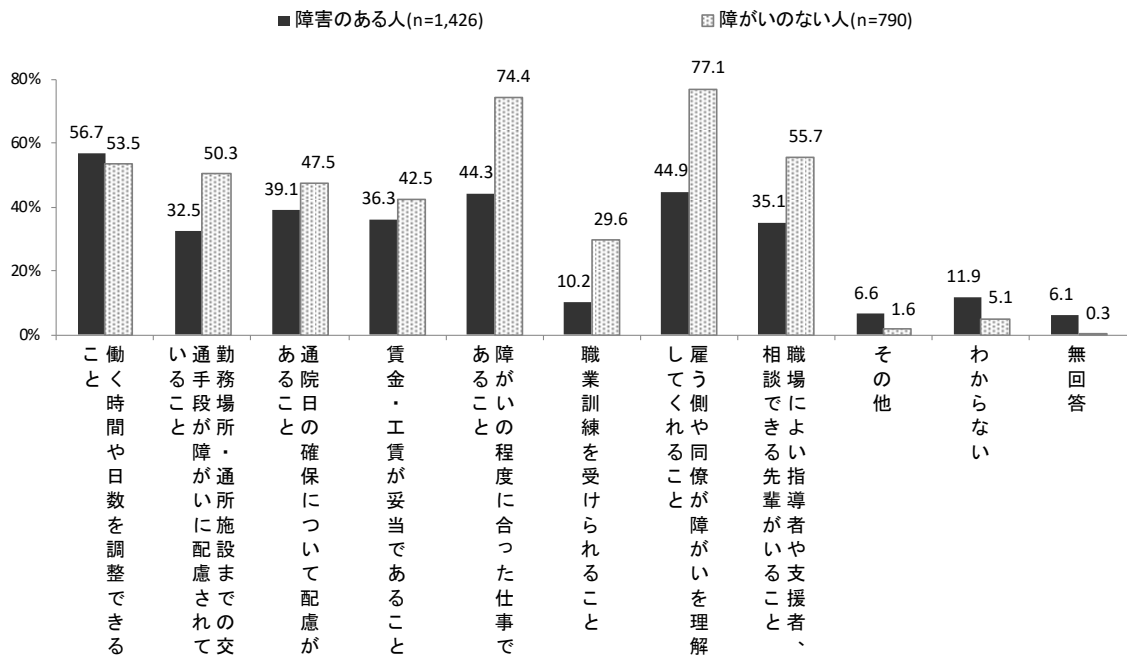
(障がいのある人)

問 今後、働くことを考えたときに、どのような環境(配慮)が整っていることが大切だと思いますか。(いくつでも)

(障がいのない人)

問 あなたは、障がいのある人と障がいのない人が一緒に働くときに、障がいのない人にとってどういった環境(配慮)が必要であると思いますか。(いくつでも)

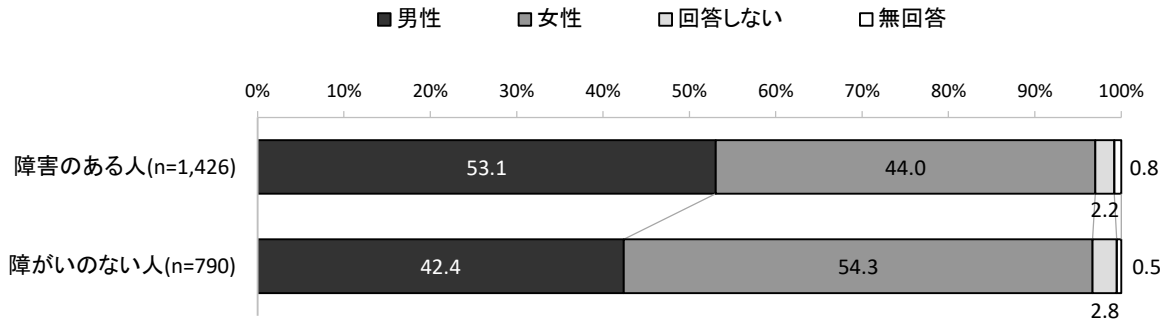
障害のある人が働くための環境整備に関する認識について、障がいのある人は、「働く時間や日数を調整できること」56.7%が最も高く、次いで「雇う側や同僚が障害を理解してくれること」44.9%となっている。障がいのない人は、「雇う側や同僚が障害を理解してくれること」77.1%が最も高く、次いで「障がいの程度に合った仕事であること」74.4%となっている。



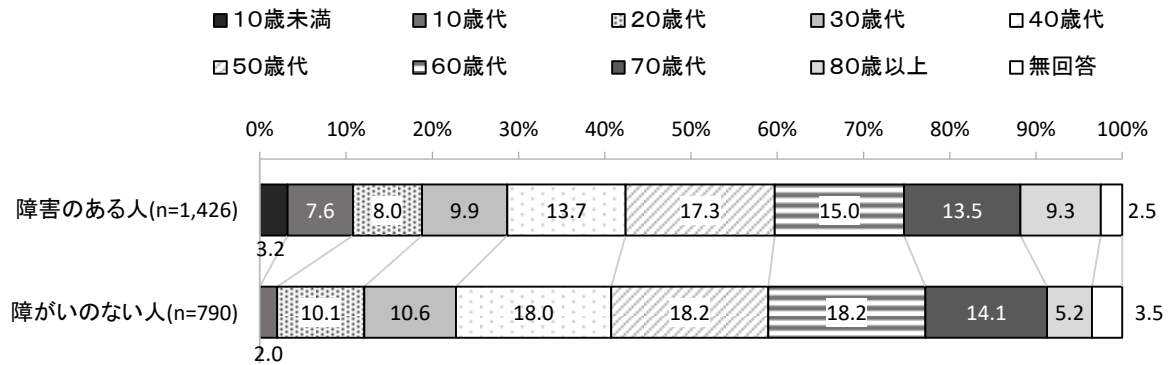
## 4. 属性

### (1) 対象者本人の属性

問 あなた(ご本人)の性別を教えてください。(ひとつだけ)



問 あなた(ご本人)の年齢を教えてください。(数字を記載)



問 あなた(ご本人)が住んでいるところを教えてください。(ひとつだけ)

